春の交通安全運動
5月22日～5月31日まで

横断は かならず横断歩道を

五月二十二日から五月三十一日まで全国いっせいに「春の全国交通安全運動」が行なわれます。

昨年、県内での交通事故による死者は三百三十一人、負傷者八、二〇二人の多きを数えました。

死亡事故についてみると、道路を利用する者のうちで最も弱い立場にある歩行者の事故が相変らず多い状況です。

これを数字で見ますと、歩行者の事故が一八三〇件で死者は一〇三人、けがをした方が一八二〇人と、全体の二〇～三〇％を占めております。

このような状況から、ことしの春の交通安全運動は歩行者の交通事故防止を重点事項としてかかげ、次のことがらなどを強くすすめることになりました。

○ 歩行者の安全な横断の確保。

○ ダンプ、トラック等大型自動車の安全運転の励行。

○ 安全運転管理者および車両の完全整備の徹底。

歩行者に対しては

○ 横断に際しての誤った優先意識をやめよう。

○ 道路を横断するときは、手をあげて、右左の安全を確めてから渡ろう。

○ 道路を横断するときは、横断歩道や横断歩道橋を利用しよう。

○ 車の直前、直後の横断をやめよう。

○ こどもに対しては、道路上での遊びをしない、させない。道路へ急にとび出さない。

以上のことがらを呼びかけるとともに、車の運転手や管理者に対しても安全運転、車の整備を呼びかけております。

緑の大敵を撲滅しよう
…アメリカシロヒトリ…

五月は若葉の季節です。しかし、この季節からは緑の大敵であるアメリカシロヒトリのはびこるシーズンでもあります。この害虫は、緑の植物であれば何でも食い荒らしますが、特に好んで食べるものは桜、桑、プラタナス、柿、クルミ、梅などです。人間を刺すことはなく、毒性もありません。しかしこの害虫をこのままにしておきますと、市街地から緑の樹木が姿を消すことになり、農村部においても、農作物や樹木に大きな被害を受けることになります。

そこで、ことしも県では、五月一日から九月三十日までを「撲滅県民運動」として、次のことをよびかけております。

□まず摘みとり防除を

① 幼虫初期の「かたまり」になっている時（六月上中旬と八月下旬）に徹底的に調べ、摘みとって踏み殺すようにする。

② このためには、庭木などは毎日見まわり調査を行ない、街路樹、桑園なども三日に一度ぐらいの割合で見まわり調査を行なう必要があります。

③ 調査は、「自分のところは自分で」責任をもって実施しましょう。どこか一か所見落しますと、何百匹を見落す結果になります。

成人式のアンケート
結果発表

この数年来、成人式での女子の服装がさまざまな話題をよんでいます。教育委員会では、限られた地域や人たちだけの意見でなく、町全体として、どのように意見がわかれるかを知るために、アンケートを求めてみました。

アンケートは町内二、七五〇戸に対して求めました。そのうちで回収されたものが一、三九枚、四一・一％の回収率でした。

回収されたアンケートは、次の四つに分類しました。

① 来年、成人該当者がいない父兄の意見。

② 来年、成人該当者がいる父兄の意見。

③ 来年、成人となる男子の意見。

④ 来年、成人となる女子の意見。

以上の問題にしたがって、次の設問別の意見比率をみました。

問 あなたは、成人式出席者の服装（特に女子）についてどうお考えですか。

これに対して

答1、あまりにも、はですぎる。簡素化の申し合わせをすべきだ。と答えたものは

分類①、六〇・二％
分類②、六七・七％
分類③、三二・八％
分類④、三三・三％

という結果が出ました。同じ父兄でも、来年、成人該当者がいるといないでは、七、五％のひらきとなっています。

当事者のなやみをものがたっています。

分類③、になるとぐっと減って、三二・八％、男子にとっては、直接自分に関係がないということと申し合わせによる画一化をきらう若者特有の性向のあらわ　とみるべきでしょう。

分類④、になると約半数が申し合わせを良しとしていますが、分類②、との比較ではかなりの意見のくいちがいをみせています。

答2、個人の自由意志にまかせればよい。と答えたもの

分類①、二九・七％
分類②、二七・四％
分類③、五二・八％
分類④、三三・三％

この答2、を良いとする意見の内容は、だいたい次の三つに分けられるようです。

第一は、申し合わせをするなどは時代さくごだ。着物はたしかに高価だが、前もって心がけていれば父兄だけに負担をかけなくてもできる。また、着物がぜいたくだと思えば洋服を着ればよい。要は本人の自覚のうえにたってきめることだ。それが身心ともに成人となった証拠だ。というもの。

第二は、どうせ申し合わせをしてもすぐもとどおりになってしまうからというもの。

第三は、蚕糸の需要が増大するから養蚕地としては、ある程度の服装の華美は歓迎する。というものです。

答3、わからない。と答えたもの。

分類①、一〇・一％
分類②、四・六％
分類③、一六・四％
分類④、一四・五％

分類③、分類④、のパーセントが高いのは、三つある答のいずれにも回答しなかったものを「わからない」として処理したためです。

この無回答には、来年、成人となるもので、現在家にいないものがかなり含まれていると推定されます。

問 成人式の期日について。

これに対しては、

答1、一月十五日は「成人の日」として祝日でもあるのだから、成人式はこの日に実施したほうがよい。と答えたものは、

分類①、六四・五％
分類②、六六・五％
分類③、六四・六％
分類④、六四・一％

いずれの分類でも、ほとんど差異のみられないパーセントで成人式は一月十五日が適当としているのが注目されます。

答2、夏（七月、八月）に実施したほうがよい。しぜん服装の簡素化にもなる。と答えたもの。

分類①、六・〇％
分類②、二・一％
分類③、六・九％
分類④、三・七％

答3、わからない。と答えたもの。

分類①、七・五％
分類②、四・四％
分類③、六・五％
分類④、五・三％

分類③、分類④、のパーセントが高いのは前にも記したように、不在による無回答が含まれているためです。

こうみてくると、式の期日については、一月十五日を適当とするものが多いようです父兄の三パーセント近くが、服装の簡素化の問題と切りはなして考え、国の祝日である一月十五日の実施に意義を見出しているように思われます。

以上がアンケート結果の概略ですが、今後の問題として教育委員会では、アンケートに示されたみなさんがたの声をさらに分析し、検討を加え、よりよい方向への措置をしていきたいと思います。

電気安全

□**東京電力のサービス週間**

東京電力では、春のサービス週間を五月二十二日から五月二十七日までの一週間、会社をあげて実施することになりました。

この機会に電気に関する相談、要望等がありましたら、遠慮なく東京電力の窓口、または派出所、サービス店等へお申し出ください。

□**停電のお知らせ**

東京電力では、一の宮変電所の点検整備のため、次のとおり停電させていただく予定です。

○五月二十八日、午前五時から午前九時までの四時間＝甘楽町全域

○ 屋根の修理、ペンキぬりテレビアンテナの補修等で屋根にのぼり、上を通っている電線にふれて、感電する例がありますから注意しましょう。

○ 「こいのぼり」等で長尺物を使う場合は、上を通っている電線に注意し、吹き流しが電線にからまらないよう、気をつけましょう。

お知らせコーナー

協力会・父兄会で自衛隊を見学

甘楽町自衛隊協力会（土屋勝会長）と自衛隊父兄会（有賀良会長）では、四月二十二日に相馬ガ原の自衛隊を見学しました。

見学に参加したのは、両会に加入する団体の役員が多く男女合わせて三十七名で、現地で総会をかね実施したものです。

相馬ガ原部隊内では、自衛隊員の生活や施設、数多くの郷土出身戦士の遺品を集めた記念館などを見学しました。

見学に参加した会員たちも自衛隊への理解と関心を高めるうえに、有意義な一日でした。

青少年相撲大会
豆力士が熱戦

四月三十日の日曜日に小幡小学校の校庭で「青少年相撲大会」が開かれました。

ことしで三回めを迎えたこの大会は、町の体協の小幡支部（小林芳雄会長）が主催したもので、当日はその力士すがたも勇ましい豆力士が多数出場し、土俵いっぱいに熱戦を展開し、あつまった約三〇〇人の観衆からにぎやかな拍手をあびました。

写真はその大会

食中毒の季節

五月も中旬になると、気温二〇度以上がつづくようになります。そこで、これからは食品の取り扱いをいっそう慎重にしなければなりません。

食品の取り扱いは、①よい材料（新しい材料）を、②清潔な手で料理し、③清潔なうつわに盛るということが条件です。この三条件はどの季節でもいえることですが、とくにこれから九月末ごろまでは必ず守って、食中毒のおきないように注意しましょう。

美しい行為の紹介

□ 前福島小学校長、津金沢誠一さんは、同校にテント一張を寄贈されました。

□ 小幡小学校PTAでは、同校に時報用ベルタイマー並びにチャイム一式（価格七万円）を寄贈されました。

役職人事

▽**国民健康保険運営協議会委員**＝会長、堀口元吉（小幡）、同委員、梅沢福次（小幡）、三木十郎（金井）、佐嶋要範（秋畑）、野口初次（白倉）、高橋純一（小川）、阿部良治（秋畑）、峰岸実（小幡）、米山清次郎（金井）

▽**衛生協会**＝会長、田村伊勢松（秋畑）、副会長、斉藤勝司（小幡）

一か月たった一年生

入学当初の四月は、元気よく学校へ行っていたのに五月にはいると、なにか気むずかしくなったり、家を出しぶったり、あるいは、休みたがったりするお子さんはいませんか。

とくに過保護のお子さんひとりっ子とか年寄りにあまく育てられたお子さん、あるいは、家の中ばかりにいて、ほかの友だちと自由に遊んだこともない子どもに、そんな傾向がみられがちのようです。

そこで、大体次の三つの点をよく考えてみましょう

①登校をしぶる…そんなお子さんを頭ごなしにしからないでください。ますなにが原因かよくたしかめることです。時によると病気の初期のこともありますし案外近視だったり耳が遠いというようなことを発見したりします。

②学校を休みたがる…これには、案外「学校にいくと、いじめられるからいやだ」という単純なケースが多いものです。おしっこをもらしてしまってみんなからからかわれたとか、みんなとちがった服装をしていておかしいといわれたというような、たわいもないことが理由になることもあります。また神経質なお子さんにもこうした学校ぎらいが見られることもあるようです。どんな場合でも学校の先生とよく相談して早く通常な学校生活ができるよう、家族全部で、おおらかにこのだいじな時間を過ごさせてあげたいものです。

③おとなたちへ…登校をしぶる…学校を休みたがるいわゆる学校ぎらいになる大半の原因は、こどもよりむしろおとなたちに責任があるということも、じゅうぶん反省すべきでしょう。

こどもは、就学年令になれば、じゅうぶん学校生活にたえうるものです。おとなは自ら反省するとともに時には、きっぱりした態度で、こどものわがままを押えることもたいせつなことです。親自身のつごう…旅行するとか買物に出るとかなどで、こどもを早退させたり休ませたりするのは、もってのほかと心得てください。